

高分解能 [10m] および広域観測モード [350 km/490 km]におけるレンジオフセットの修正について

2018年11月22日

JAXA ALOS-2 プロジェクトチーム／地球観測研究センター

PALSAR-2 高分解能 [10 m] モードにおいて確認されたレンジオフセット誤差（詳細は※1の資料をご覧ください。）を修正する処置を、2018年11月20日（日本時間）に標準処理ソフトウェアに対して行いました。この標準処理ソフトウェアの更新の結果、レンジオフセット誤差が解消していることを確認しました。更新前後のレンジオフセットの算出結果の比較結果については、次頁の図をご覧ください。

11月20日（日本時間）付けで標準処理ソフトウェアの更新を行った後に注文されたプロダクトについては、レンジオフセット誤差が解消されたプロダクトを提供させていただくようにいたします。

なお、レンジオフセット誤差の影響を受ける観測モードは、次の通りです。

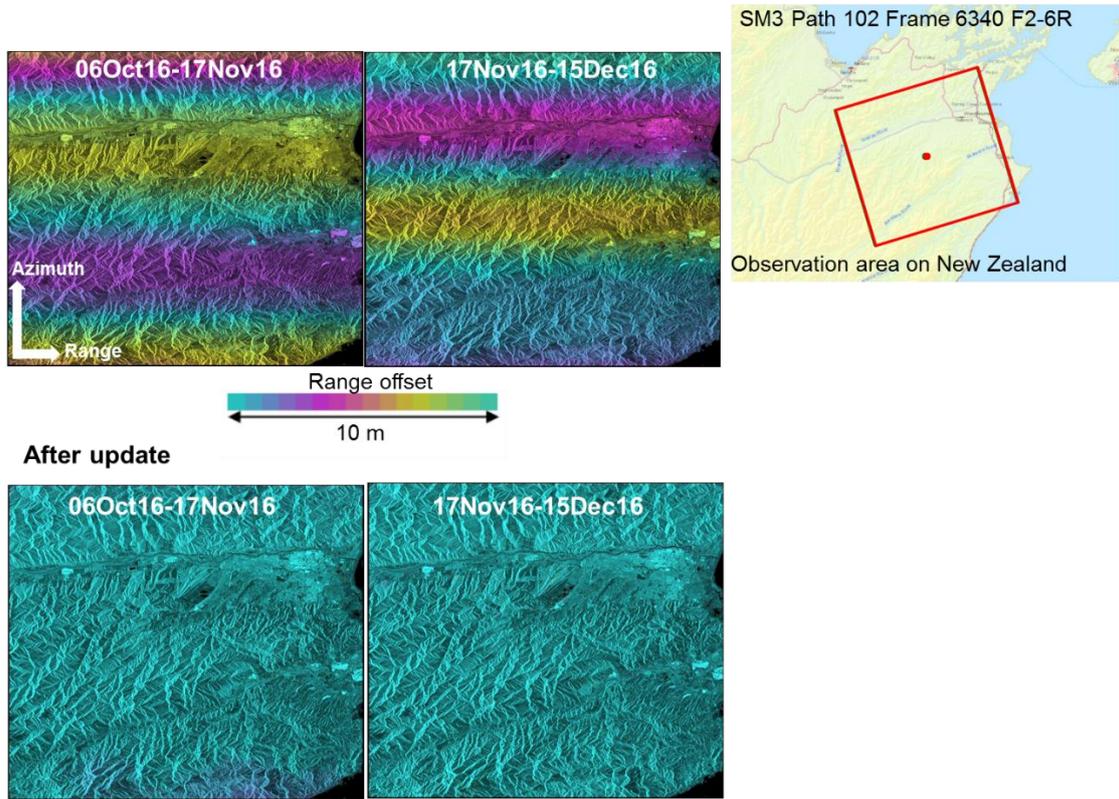
高分解能 [10 m]

広域観測 [350 km] 14MHz / 28 MHz

広域観測 [490 km]

ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、何卒ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。

※1: [https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS-2/calval/JAXA\\_PI\\_workshop\\_ALOS2CalVal\\_20180124.pdf](https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS-2/calval/JAXA_PI_workshop_ALOS2CalVal_20180124.pdf)



図： 標準処理ソフトウェア更新前後のレンジオフセット算出結果の比較。